

産地にしかできない、丸ごとシルクという贅沢。

# 純まゆ石鹼

飛鳥時代から千四百年、福島シルク

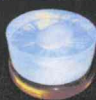


シルクが美肌の源と云われる理由は、天然シルクだけに備わっている肌と同じ十八種類のアミノ酸群があるから。大切な美肌のエッセンスを一つも損ないために、丸ごと繭を熟処理せず天然のままに用いた、産地ならではの贅沢なシルクをぜひご堪能下さい。

- 天蚕（福島県霊山町産）
- 黄金（国内産）
- 純繭（福島県川俣・飯野町産）

泡立ち豊富。保湿度もはつきりしておりつつばならないしっとり感があると好評です。

## 純まゆ



泡立ち豊富。美しい自然の黄金色は天然フラボノイド成分。見た目にも美しく好評です。

## 黄金



泡立ち豊富。美しい萌黄色は天然フラボノイド成分で、分量は黄金繭の約3倍と圧倒的です。

## 天蚕



ALMA

# 本当はすごい繭のお話

## ①どんな産地？

もし、歴史のある産地というだけの理由なら、私たちは繭石鹸を作っていない。もし、繭から採る天然シルクの質が化学精製されたハイオシルクに劣ると思ったら、私たちは繭石鹸を作っていません。もし、繭がトランプルの少ない低刺激というだけの性質なら、やはり、繭石鹸を作っていません。

よく近年になって、繭から採るシルクのスキンケア効果が一般に知られるようになってから、化学の功績で大量のシルク成分が化粧品原料として登場しました。

おかげで多くの方がシルクの恩恵を受けられるようになりました。

しかし、本当のシルクを知っているのは、私たち養蚕や絹織物に従事した者の素肌です。化学でない、天然シルクを広く知っていただきたい、という理由で、私たちは繭石鹸を世に出すことにしたのです。

私たちは、天然シルクの、活きている機能性たんぱく質を、ぜひ、堪能していただきたいのです。

さて、本題に入る前に、少し、産地の歴史などにも触れておきます。

福島県の養蚕と絹織物の歴史は、約1500年前の飛鳥時代に、崇峻天皇の妃であった小千姫が、蘇我馬子に故郷の大和を追われ、福島で養蚕と絹織物を伝え余生を過ごした頃に遡ります。

江戸時代まで幕府指定の『蚕都』として世界に知られ西欧の世界地図に記載されています。

明治初期には日本初の養蚕学校である、『掛田養蚕伝習所』が、ここ伊達市壺山町に開設し、教科書の『養蚕技術書』はフランス語に翻訳されフランスのパスツール研究所でもテキストとして使用され、遺伝学の大先輩となりました。

現在、養蚕農家は激減しましたが、福島県の繭が世界の最高水準であることに変わりはありません。

私たちは、更に研究を重ねて、より高水準な天然シルクを得るために地道な努力を続けています。

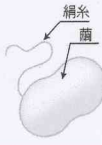
※画像上から、

- ・堰堤公園。当家建立の織姫神社があります。
- ・小千姫像と私。
- ・エソノキヌヤナギに天蚕の種(卵)を取り付けている私。
- ・天蚕の会仲間たちと私。



## ②繭って何？

繭(まゆ)とはシルクそのものです。絹糸の固まりですから、そのままお蒲団に使う絹もわたになり、織物用の絹糸も採れます。繭は蚕が作ったサナギ時代を過ごすために、絹糸を吐いて作った家のようなものです。



## ⑧繭と肌は同じ？

人の肌は20種類のアミノ酸でできています。繭、つまり天然シルクは人間とほとんど同じ18種類のアミノ酸でできています。ですから、低刺激で肌との相性が良いのです。



## ③繭の機能って？

空気の入りが良いように絹糸は多孔性で、暑過ぎず涼し過ぎずという温度調節が働きます。また、吸湿性と放湿性は綿の約1.5倍も優れています。ですから不快指数はとて低いのです。



## ⑨スキンケアに良いの？

絹糸の約25%がセリシンというタンパク質でできています。セリシンにはスキンケアにとって大切な天然の保湿性と抗酸化作用があることが明らかにされています。



【絹糸の拡大図】

## ④紫外線対策って？

紫外線を反射してブロックします。春先から初夏にかけて降ってくる成層がんを起こすような波長の短い有害紫外線は、吸収して(チロシンというアミノ酸の機能)ブロックします。



## ⑩名称の純まゆって？

熱処理も化学処理も施さない、純粋な生のシルクという意味です。繭を熱処理しないことによって、大切なシルク成分を守ります。シルクは生きているんです。



## ⑤繭の色はなぜ？

白色は家で飼う家蚕の繭です。黄や緑は山に棲息する野生の蚕が天敵の鳥から身を守るための保護色です。色素の素は天然のフラボノイドで、抗菌性や紫外線防御などの特性があります。



## ⑪繭を丸ごと使う意味は？

繭の約25%がスキンケア成分のシルクタンパク質で、残りは絹糸です。業界ではシルク化粧品のシルク成分配合は約1%未満ですから、丸ごと繭はたっぷり贅沢なシルクの固まりなのです。



## ⑥繭の種類と産地は？

私どもが使う、白・黄・緑色の繭は種類も通じます。白色は福島県の家蚕、黄色は国内の野蚕、緑は福島県の家蚕です。専門家は色や形から産地がわかります。石鹸を透明にしたのは素性を隠さないためです。



## ⑫生繭加工って？

繭は生きています。しかし、熱や化学薬品に触れると壊れてしまいます。それではせっかくのシルク成分が変性して機能を失ってしまいます。ですから、熱処理をせず蚕を生きたまま取り出します。これを生繭加工といいます。



## ⑦繭の臭いは？

匂いはありません。私たちは蚕を殺さないで生きたまま繭から取り出します。熱処理すると蚕の臭いが繭に移るので、シルクが変性してしまつたら、一粒ずつ手作業で加工しています。



## ⑬どんな会社？

そもそも明治初期より続く絹織物業です。(福島県伊達郡飯野町)近年、輸入物やバイオシルクの圧倒的増加に伴い国産シルクを渴望する多くの方からのご要望に応えるべく研究・開発に動いております。多少なりとお客様のお役に立てれば幸いです。